

# 「平成28年度農林水産分野の生物多様性連携シンポジウム」開催報告

## 開催概要

本シンポジウムは、今後の農山漁村地域の生物多様性保全活動を効果的に促進していくための方策を考えることを目的に平成26年から毎年開催してきたものです。今年は特に、多様な主体をつなぐ「連携推進機関」の役割と期待にスポットをあてて意見交換が行われました。

当日は、平成27年度から実施している農林水産政策研究所委託研究成果から自然資本の価値評価の方法や企業と地域とが連携することにより生み出される経済効果について紹介いただきました。また、生物多様性保全活動を地域価値の向上につなげていこうとする活動事例を紹介いただき、パネルディスカッションでは、農林漁業者の方々や企業等の多様な主体間の相互理解を深めていくうえで有意義な議論が行われました。

## 【プログラム】

日 時	平成28年11月22日(火) 14時00分～17時00分
会 場	農林水産省 本館7階講堂 (東京都千代田区霞が関1-2-1)
研究報告	「農山村地域における生物多様性保全活動の価値向上と価値評価」 栗山 浩一 氏 (京都大学大学院農学研究科 教授) 「農山村地域と都市の連携を支える連携推進機関の役割」 橋本 禅 氏 (東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授)
事例報告	～経済的連携に取り組む現場から～ 「三重のふるさと応援カンパニー推進事業」 山本 一輝 氏 (三重県農林水産部農山漁村づくり課) 「生物多様性.com」 鶴田 由美子 氏 (公益財団法人日本自然保護協会 (NACS-J) 事務局長) 「生物多様性保全に取り組む農業者との連携」 古谷 愛子 氏 (特定非営利活動法人オリザネット 事務局長) 「エコ農業とちぎ」 上岡 啓之 氏 (栃木県農政部経営技術課 主査)
パネルディスカッション	「経済的連携を進めていくための具体策と担い手について考える ～多様な主体をつなぐ「連携推進機関」の役割と期待～」 【コーディネーター】 栗山 浩一 氏 (京都大学大学院農学研究科 教授) 【パネリスト】 香坂 玲 氏 (東北大学大学院環境科学研究科 教授) 古谷 愛子 氏 (特定非営利活動法人オリザネット 事務局長) 上岡 啓之 氏 (栃木県農政部経営技術課 主査) 中川 一郎 氏 (農林水産省大臣官房 環境政策室長) 千田 純子 氏 (環境省自然環境局自然環境計画課 生物多様性施策推進室 室長補佐) 西田 貴明 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 グリーンインフラ研究センター 副主任研究員)
共 催	農林水産省、京都大学大学院農学研究科、東京大学大学院農学生命科学研究科、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
協 力	環境省